

議決権行使レポート

証券コード 4095

会社名 日本パーカライジング

	賛成	反対	棄権
第1号議案 剰余金処分の件	○		
第2号議案 取締役（監査等委員である取締役印を除く）6名選任の件			
里見 多一 氏	○		
田村 裕保 氏	○		
吉田 昌之 氏	○		
福田 康政 氏	○		
江森 史麻子 氏	○		
森 達哉 氏	○		
第3号議案 監査等委員である取締役員2名選任の件			
久保田 正治 氏	○		
近 浩二 氏	○		

上記の推奨をした理由

- 第1号決議案について

賛成

連結配当性向は46.5%で、ISS基準の配当性向15%~100%の範囲に収まっており、会社で定めた連結配当性向30%という目安よりはやや高いもののかけ離れた数値ではなく、前年度の52.0%から下方修正されていることから問題ない値だと判断したため。

- 第2号決議案について

里見多一氏：賛成

長年取締役会長を務めてきたキャリアがあり、当社の経営状況や経営方針に関する知識、経験が豊富であるため引き続き取締役を任せるに適する人だといえるから。

田村裕保氏：賛成

経理部統括部長などを経て、取締役管理本部長などを経験しており、財務・会計についての経験、実績が豊富である。下記の表1に示されているスキル・マトリックスを

みると、財務・会計分野は現取締役会長の里見氏の専門を補う重要な分野であり、取締役を歴任してきた田村氏は再任するに適する人物だと判断したため。

吉田昌之氏：賛成

日本パーカライジングは主に金属の表面加工を行う化学分野の企業であり、研究への投資等は経営上重要な要素であるといえる。取締役研究所長などの経験のある吉田氏は技術に関する知見が豊富で取締役のなかでも重要な視点を持つ人材であり、適切な人物だと判断したため。

福田康政氏：賛成

営業の経験もあり、マーケティング・営業に関する知識が豊富、かつ現在も取締役製品事業本部・加工事業本部を管掌していて、今後も取締役員として経営に携わるにふさわしいと判断したため。

江森史麻子氏：賛成

弁護士としての経験、知識を備えた人材で、コンプライアンス指導・監督において当社への貢献が引き続き期待できるのに加え、所有株式は0株で独立性も高く、社外取締役として適切な人物だといえるから。

森達哉氏：賛成

複数の企業でのキャリアがあり、自身のオフィスを設立するなど経営に関する高度な知見、多様な経験を有しており多角的な視点から企業運営に貢献できると考えられる。また、所有株式は0株で独立性も申し分なく、社外取締役に適した人物だといえるため。

氏名	企業経営	マーケティング・営業	開発・技術	国際グローバル	財務・会計	法務・コンプライアンス
里見 多一	○		○	○		
田村 裕保	○				○	
吉田 昌之	○		○	○		
福田 康政	○	○				
江森史麻子	○					○
森 達哉	○				○	
久保田正治						○
細金 逸人	○	○		○		
近 浩二	○	○				
樫山 重貴				○	○	

表1 株主総会後の取締役会の構成及びスキル・マトリックス
(日本パーカライジング 第138回株主総会招集通知より引用)

- 第3号決議案について

久保田正治氏：賛成

企業経営の経験はないとはいえ、長年の弁護士としての経験と高い知見、2019年からの社外取締役の監査等委員としての経験があり、引き続き社外取締役として適切な監査業務ができると考えられるから。また、保有株式も0株で独立性があり、取締役会、監査等委員会への出席状況もともに100%であることから再任にふさわしいと考えた。

近浩二氏：賛成

長年にわたり複数の企業での職務経験があり、企業経営についての豊富な知識と経験を有しており監査等委員として適切な役割が果たせるものと判断したため。また、保有株式は0株で、社外取締役としての独立性があり、取締役会、監査等委員会への出席状況は100%ではないが、再任するに問題のない範囲であると判断した。

以上